

市長報告書

期 日 平成31年1月16日（水）

場 所 札幌市役所市長会議室（10階）

本年度「区長表敬訪問」では、下記をテーマに各区の状況や課題等についてお聞きをして来ましたので、報告いたします。

■テーマ

9月6日未明に発生した胆振東部地震は、札幌市内にも大きな被害をもたらした。最大1万人以上の市民が避難所へ避難したとの報道がありました。

各区で開設した避難所の状況や、避難所で直面した問題や今後の課題等についてお聞かせ願いたい。

※避難所の開設、運営の大変さ、ご苦労は重々承知をしておりますが「避難所としての現場がどうだったのか」、実際に携わった生の声をお聞かせいただければ幸いです。（避難所を開設しなかった区は、他区への支援の状況や②を合わせても結構です。）

【テーマの要旨】

①札幌市では、災害時、一般避難所内に、障がい者や高齢者また妊産婦の方々など、支援を必要とする方々のために“福祉避難スペース”を設けることになっています。

この度の災害時、一般避難所で福祉避難スペースの必要な方がいるかどうか確認がなされたか、また、福祉避難スペースを設けた避難所があれば、設置までの経緯や今後に生かす課題等についてお聞かせ願いたい。

②この度の災害により「避難行動要支援者名簿」の提供を受け、要配慮者の避難支援に取り組んでいる町内会など地域団体が、組織全体数のわずか2パーセント（市全体で40数箇所）しかないことが明らかになりました。

この取組みが進捗しない原因や問題、また進展させていくための課題等についてお聞かせ願いたい。

各区よりお話をいただいた内容

【災害発生後の避難所開設及び運営について】

- ・一般避難所に指定されている避難所のほとんどを、発生後3時間以内に開設することができた。
- ・避難所運営に対し、地元町内会、学校職員など、協力的だった。
- ・被害の大きかったところは、職員が個別に避難を呼びかけまわった。
- ・支援を必要とされるような方々に声をかけ、空き教室や保健室を福祉避難スペースとして使用していただいた。
- ・車いすを使用していた高齢者に希望を聞き、福祉避難所へ移送した。
- ・保健師等が避難所を巡回し、要配慮者等から困っていることなどの話を聞いてあげた。
- ・難聴障害者に対し、情報伝達など筆談で対応した。

【課 題】

札幌市は自然災害が少ない街として、災害に対する市民意識が極めて低く、そんな中、札幌市が初めて経験する大規模地震であり、今回の災害を教訓として様々な課題を整理し対策を講じていく必要があるとお話をされておりました。

様々な課題についてお聞きをし、意見を述べさせていただきましたが、共通して次の2点について速やかな対策が必要であると考えます。

①地域組織に対する避難行動要配慮者支援対策の推進

- ・避難所までの移動支援
- ・情報の得にくい聴覚・視覚障害者等への情報支援
- ・ライフライン停止に対する支援

②避難所運営に対する実践的なマニュアルづくり

- ・マニュアルはあるが、具体的な指針などが示されていないため、現場で苦慮された避難所が多かった。